



図書館くらぶでは、新会員を募集しています。

▼私たちのボランティア活動は、会員の特技や多様な情報を活かして企画展示や教室・ミニゼミなど多彩な催しを図書館や各公民館図書室で行うものです。会長 桑澤宏康 Tel. 0573 (66) 0249



初夢・目標

新図書館待望の声が市内を席巻！

「びんびん長寿でござりと逝きたい」の声に応え

図書館が市民病院・家庭医と連携

《新年にあたって》

▼大震災、原発事故からの復興に奮闘する人々を思いつつ、自分自身の仕事を確実に一歩一歩やり遂げたい。近藤信幸

《二〇一二年の夢》

▼《行動を起こせば、夢は絶対に叶います》
次女の執筆活動に協力して大作を完成させ、一万部を売らせていただきます。

《今年の目標》

▼健康第一！それしかありません。そしてPPKを目指したいです。
▼新図書館オープンに向けて頑張ろう！楽しい街づくりには、図書館くらぶもゴーゴー。
▼今年は車の運転に気を付けます。昨年はスピード違反とイノシシに激突しました。ゴールド免許を早く取り戻したいです。
▼今年こそ、新図書館建設が確実になること、図書館くらぶの会員を増やすこと

▼感性を豊かにする

見る(目) ↓堀文子の個展にどうしても行く。
聞く(耳) ↓高橋真梨子コンサートに行く。
口 ↓食べ過ぎに注意。
鼻 ↓必要な情報をかき分けられる様にする。
触 ↓美しい物にさわると、見る、身につけ、私なりの美しさを持つていたい。

《病院・自宅にも本宅配》

▼「緊急入院先の病院にも、退院後の枕元までも、図書館に頼んだ本が宅配されることになった」これって、正夢になるかも知れない予感。新図書館に期待が膨らみます。
(太田市立中央図書館では平成十三年度より図書宅配サービスを実施。ご覧になりたい本をあなたに変わって宅配サポーターズが真心を込めてお届けします。)

《公民館が貸借の窓口》

▼図書館より病院が大切だ！と叫んだのが悔しい。ちゃんとした説明が無かったからリコール署名もやっただ！よく聞いたら公民館で

本の貸出申込み・受取り・返却ができるこの事。図書館はお助けマンか！

《利用者専用の図書検索端末がほしいわ！》

▼現在、公民館職員の休憩時間中は、パソコンが使えません。開館中、利用者が職員の仕事に気兼ねなく自由にいつでも使える利用者専用端末を設置して下さい。

《小中学校図書室で、新図書館のサービス提供を》

▼子どものころから親しんだ小中学校の図書室で新図書館の本の貸借ができれば、年よりは勿論、主婦も助かります。
札幌市では「[学校図書館地域開放事業](#)」として昭和五十三年以来定着しているそうですね。

《初夢・健康・医療分野の書架が図書館内で最高のにぎわいエリアに！》

▼「主治医が勧める本が書架にある！」と高齢者が朝一番で開館前から並びだす賑いになった。中津川の高齢者は幸せだね。病院のお世話にならない元気な長寿ばかり。「図書館がパワースポットになったおかげささ！」という初夢が正夢になる予感がします。

新図書館への道順 [地図](#)

・すてきな街には素敵な図書館がある
・元気な街には充実した図書館がある
・図書館は生涯学習の学校である
・創造情報館「充実に向け頑張ろう」
二〇一二年一月六日新年会
図書館くらぶ

はがきコンクール作品展♪一月二十九日まで
想い満載の全一〇〇四点を図書館で展示。

「子どもの読書の日」朝の読書の子どものわたしのわくわく・どきどきが、作品に凝縮!

《表彰等:入賞作品は、引き続き2月中、図書館で展示。》
 ①ジュニア部門(市内の中学生以下)応募数: 1 園、15 小中学校=972 点
 ②一般部門(市内・外の高校生以上)応募数: 32 点
 ▼入賞審査: 1月30日(月) ▼入賞: 特賞、金賞、銀賞、銅賞を予定
 ▼表彰式: 2月25日(土)13:30~中央公民館ホール



そうだ!図書館へ行こう
 ※一番気に入った作品に投票して下さい。
 (投票用紙は展示場に備付けてあります。)

来年の一般部門の応募に期待大です。エントリー準備をよろしく!

《本の中につけての自分をみて》

▼私は、今義母に毎週本を借りて面会に行きます。自分が居た中国が出てくる本に喜びます。若い行く中であつての自分を見出し奮い立たせるのでしよう。生きている証です。
 ▼パソコンは、便利。でも今のようになると、母に思いを語り空気で伝えることが大切だとしみじみ思います。パソコンが未だ無かつた時代に生き、そしてパソコンがあらゆる現代にあつても、本からこそ、母は生きた証を買つたのです。ページとページの間、活字の無いところに伝えたい空気が詰まっています。人間は自然のなかで、生きているなあー。

《新読書サークル誕生》

■「治療文化としての図書館」明定義人館長の講演(十二月二十一日)に触発されPPK読書サークルをネットに立ち上げました。

▼八十歳を超えてもなお、元気な高齢者の秘密を探ります。テキストは水野肇・青山英康編著「PPKのすすめ。元気に生き抜き、病まずに死ぬ。紀伊國屋書店1998刊」

《PAK図書館は買献のぞく》

▲主治医・市民病院のドクターやナース・ケアマネがお勧めの本のリストを企画中。

《高齢者には図書館が命綱なんですわ!》

▼「本音を言えば、病院には行きたくない。びんびん長寿で、「ロリ」と逝くのが理想です」と筒井さんは胸を張る。 紀平

一面の続き♪ 《図書館はお助けマン!》
今年の夢・初夢・抱負・目標

《図書館で夢をつかめる》

▼老人の生き方は、四〇代から六十までに生き方の情報を手にいれ、夢を持つことが必要です。その意味で図書館は大切です。

《夢・毎日図書館通い》

▼新図書館ができたら、毎日一時間、通うのが夢です。ボランティアには、なかなか参加できず済みません。

《「図書館好いとて、一度はおいで。冷暖房完備でカフェもある。友達としゃべっていても「しゅっ」なんてしかられない。新図書館なら〜」読み人知らず》

▼図書館って、テイケアーより凄くない?入館料無料だもんね♪

《出会いにわくわく》

▼さまざまなお会いを感謝で受け止め学ばせていただき、成長していきたいと思ひます。

▼図書館くらぶの人々との出会いを大切に楽しく、小林光代館長さん、桑澤宏康さん、新しい中津川に期待しています。皆様と歩いて行くと思つています。余りお役にたてるか、わかりませんが、よろしくお願ひします。

▼昨年は皆様のセンスの良さが引き立った展示ありがとうございしました。このへらぶに入らなかつたら一生出会う事の無い方々に出逢えたことが宝です。本年もよろしくお願ひ致します。

《お手伝いします》

▼小布施の図書館見学に始まり中津川の小林光代新館長と出会いのあった一年でした。今年もくらのお手伝いします。

《私の今年のテーマ》

▼「楽しく、イキイキ、よろこんで、無理はせず」家の両親は今年、父は満八十七歳、母は満八十歳になります。図書館とは無縁で、病院は必要最小限、地域の「家庭医」(個人病院)のお世話になってます。

《人は》

朝はまず顔を洗います
 食事には手を洗います
 食後は歯を洗います
 夜は体を洗います
 着衣は洗います
 家を掃除します
 貴方の心はいつ洗うのでしょうか

《三月度図書館展示は「中津川の菓子」》

▼正月明けから、市内の和菓子店さんのわくわくインタビューを開始!修行時代のご苦労、主力商品開発秘話等を伺い、お店の一押し品を自腹で試食中です!

▼インタビューにこころ下される方を募集中!

新図書館平面図

健康医療情報サービス

朝の読書ホームページ

▲かけはしは、図書館HPのデジタルアーカイブにもお読み下さい。
 ・ハイパーリンク先情報をご利用できます。

岐阜県図書館